



7

身近にあるいじめ

どつどつすればいいんだ

ぼくらのクラスにヨースケが転校してきた。

ヨースケは、小さな声で、でも、たぶんせいっぱいがんばって自己^{じこ}しょうかいをした。

ヨースケのアパートは、ぼくとシンちゃんの家近くだったから、ぼくとヨースケは、いっしょに帰るようになって、そしていっしょに遊ぶようになった。



はじめのころ、シンちゃんもぼくも、ヨースケのことを「ヨースケ君」とよんでいた。

でも、そのうち、「ヨースケ」とよぶようになった。

それは、すぐに仲よくなったからじゃない。

ヨースケが力が弱いこと、ヨースケが走るのがおそいこと、ヨースケが算数が

苦手なこと、ヨースケがぼくらの言うとおりにするじや

